

平成28年司法試験 合格体験記

平成27年度修了（既修コース）村田 百合恵

法務研究科11期既修の村田百合恵と申します。

まずは、在学中はもちろんのこと修了後までご指導くださった先生方、学習環境を整えてくださった資料室・事務の皆様、応援してくれた家族、友人、すべての皆様に深く御礼申し上げます。

今回合格できたのは、決して自分ひとりの力だけではなく、周囲の皆様のお力添えがあってこそのことだと思います。特に、多くのゼミで学べたことが大きかったと思います。

ゼミをしていてよかったことは、第1に、先生に自分の答案をみていただけたことです。司法試験に合格するためには、当然ですが、点数が取れる答案、評価される答案を書かなければなりません。自分では書いているつもりでも伝わらなければ意味がありません。自分の書いた答案が、他人の目、しかも専門家である先生目からみてどう評価されるのかが把握できたことで答案の書き方が変わったと思います。

第2に、意識の高い仲間と一緒に勉強ができたことです。司法試験合格という目標に向かって常に努力をしている仲間がいたことで、緊迫感をもって勉強に取り組むことができました。また、質問し合ったり議論をしたりすることで、自分の理解不足の点を認識し、さらに理解が深まりました。仲間とは助け合うだけでなく、負けてたまるか、というライバル心をもって取り組めたことも大きかったと思います。

他人を意識するからこそ、自分を高めることができ、合格につながったのだと思います。

これから司法試験を受ける皆様、どうぞ孤独にならないでください。自分一人の世界に入って行ってしまわないでください。周囲に指導して下さる先生方がいる、同じ目標に向かっている仲間がいるという環境はロースクールに来たからこそ得られるものです。せっかくすばらしい環境があるのですから、それを存分に活用してください。

皆様の合格を心よりお祈りしております。